

## ● 環境行政のさらなる推進のために

環境行政のさらなる推進のために、以下のことに取り組みます。

- 1 環境プロモーション**  
市民・活動団体・企業とのコミュニケーションを活発化し、行政側が営業マインドを持って、市民等の行動につながる取組を展開します。また、世界の多くの都市では、環境への積極的な取組を都市のイメージ戦略として活用しており、環境への取組は都市のプロモーションにおいて重要な役割を担っています。今後は、横浜の取組を国内外に向けて広く発信し、世界の中で“選ばれる都市”を目指します。
- 2 環境行政のプロセス管理**  
環境施策の取組状況を分かりやすくまとめ、その効果を検証します。また、市民の皆さまや横浜市環境創造審議会などからのご意見を、個々の取組の評価や総合的な視点での提案につなげます。
- 3 環境に関する基本制度の見直し**  
横浜市は、環境行政の基本制度として「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」を制定しています。現在、この基本条例に基づき取組を進めていますが、今回の新たな計画の策定を踏まえ、基本条例を含めた環境行政の基本制度について、見直しの検討を始めます。
- 4 連携範囲のさらなる拡大**  
環境分野だけではなく、他分野の施策を積極的に取り入れる姿勢を持って臨みます。また、環境の課題は広域にわたり影響を及ぼすものであり、横浜だけで取組を進めるのではその効果に限界があります。そのため、他都市、他分野との連携による取組を進めることにより、さらなる効果の拡大につなげます。

## ● 横浜の環境の現状を知るためには

横浜市の環境の現状と、様々な環境施策・事業の取組状況について、毎年振り返りを行い、その結果を年次報告書「横浜の環境」として取りまとめています。

「横浜の環境」は、環境創造局ホームページ、市役所市民情報センター、区役所、図書館等で閲覧できます。



新たな「横浜市環境管理計画」(概要版) 平成 23 年 5 月発行

【発行】 横浜市環境創造局政策課 TEL: 045 (671) 4102  
横浜市 中区港町 1-1 FAX: 045 (641) 3490

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri/>



# 新たな「横浜市環境管理計画」概要版

## ● 横浜市環境管理計画とは

「横浜市環境管理計画」は、環境施策を総合的かつ計画的に進めるため、「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づき策定している環境の総合計画です。本計画の主な役割は、環境行政を総合的に推進し、市民に分かりやすく環境の状況をみせること、プロセス管理を基軸に据えることです。

計画の期間は、2011（平成 23）年度から 2025（平成 37）年度までです（事業実施に関する視点での取組目標は 2013（平成 25）年度までの期間で設定）。

## ● 横浜市が目指す将来の環境の姿

あらゆる環境技術の導入やライフスタイルの変革などにより、温室効果ガスの排出が大きく削減している低炭素なまち

郊外部だけでなく、都心臨海部においても身近に多様な生き物を感じられる、水とみどり豊かな自然環境があるまち

▶ これらの環境への取組が、横浜の経済の活性化、まちの魅力づくりなどに大きく貢献しています。

## ● 環境行政の取組姿勢

横浜市環境管理計画は、以下の環境行政の取組姿勢を踏まえて策定しました。

- 1 市民・企業の主体性の発揮**  
広報、支援制度などの充実も含め、市民の視点から取組を推進します。
- 2 環境を基軸とした総合的な施策の推進**  
市民生活（子育て・健康福祉・地域社会等）、経済、まちづくりなど、あらゆる分野と連携した、総合的な環境行政を推進します。
- 3 成長戦略への貢献**  
市内経済の持続的な成長に向けて、環境分野を柱とした成長戦略を推進します。
- 4 “選ばれる都市”の実現**  
横浜の地域資源としての環境を、国内外に向けて発信します。



# ● 総合的な推進を重視した施策展開

「横浜市が目指す将来の環境の姿」の実現のために、総合的な推進を重視した施策を展開します。

※2013年度以降の主な取組については、計画の進捗状況を踏まえて、検討します。

「人・地域社会」、「経済」、「まちづくり」の3つの視点により体系化し、総合的・横断的に取組を推進します。

総合的な視点による基本政策と様々な分野と連携して横断的に取り組みます

## 環境と人・地域社会

2025年度までの環境目標

市民の日常生活においては、横浜型のエコスタイルが定着し、企業においては、環境改善につながる技術開発が積極的に実施され、地域においては、地域活動が活発に行われ、地域の活力が満ちている環境を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・環境活動団体への支援
- ・企業の環境行動の表彰制度の導入
- ・地域資源を活用した体験プログラムの実施



## 環境と経済

2025年度までの環境目標

環境分野をツール・フィールドとした新たな展開による市内経済の活性化が進んでおり、また、横浜の地域資源の活用による、エコツーリズムや環境技術・ノウハウの蓄積等が活発に行われている環境を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・省エネ経営促進支援事業の推進
- ・中小企業研究開発促進事業の推進
- ・公民連携による水ビジネスの国際展開



## 環境とまちづくり

2025年度までの環境目標

環境配慮と都市活動のバランスが保たれ、住みやすく、働きやすい環境、また、誰もが移動しやすく、環境にやさしい交通体系が整備され、環境配慮型の建築物が多く見られる環境を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・身近な生き物に着目したまちづくり
- ・交通ネットワークの整備による環境負荷低減
- ・建築物環境配慮制度のさらなる展開



## 環境側面からの基本施策～環境分野の課題に着実に対応します～

「地球温暖化対策」、「生物多様性」、「水とみどり」、「食と農」、「資源循環」、「生活環境」の6つの視点から施策を体系化します。また、「地球温暖化対策」と「生物多様性」を重点化し、包括的な分野として取組を進めます。

### 地球温暖化対策

2025年度までの環境目標

市民・事業者・行政が一体となって、エネルギーの効率的な利用や再生可能エネルギーの導入等を実施することにより、快適に低炭素型の生活・事業活動が行える都市環境整備を推進し、温室効果ガス排出量の削減を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・横浜スマートシティプロジェクトの推進
- ・市民のライフスタイル変革に向けた「エコ活。」の普及



### 生物多様性

2025年度までの環境目標

市域全体の生物多様性が豊かになり、市民が生活の中で自然や生き物に親しめ、生物多様性が市場価値として大きな役割を有するための取組の推進を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・市民協働生き物調査の推進
- ・市民の守りたい、伝えたい谷戸環境の選定
- ・動物園等における環境教育の実施



### 水とみどり

2025年度までの環境目標

樹林地や農地等のみどりの保全、新たなみどりの創造を目指すとともに、土地利用の改善や雨水浸透等普及等により、良好な水循環の回復を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・市民協働による緑地維持管理事業の推進
- ・エコな庭づくりの推進
- ・水辺の拠点整備

### 食と農

2025年度までの環境目標

市民が「農」とふれあえる環境の提供、食と農の連携によるまちの活性化、新たなビジネスモデルの発信につながる取組を進め、安定的・長期的な農地の保全を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・農のある地域づくり事業の推進
- ・市民利用型農園の設置
- ・地産地消の推進

### 資源循環

2025年度までの環境目標

3R行動を実践するライフスタイル・ビジネススタイルが定着するとともに、市民、排出事業者、処理業者が産業廃棄物のことで困らない都市の実現を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・発生抑制等推進事業の実施
- ・さらなるごみの資源化の実現
- ・市民、排出事業者、処理業者、行政の協働・連携強化

### 生活環境

2025年度までの環境目標

清浄な大気の中で、様々な生き物がすめる川や海に親しめ、地盤沈下や化学物質等に対する心配や騒音・振動による不快感がなく、ヒートアイランド現象が緩和された安全で安心・快適な生活環境の実現を目指します。

〈2013年度までの主な取組項目〉

- ・大気環境の保全
- ・水環境の保全
- ・地盤環境の保全
- ・化学物質対策の推進
- ・騒音・振動対策の推進
- ・ヒートアイランド対策の推進